

公益財団法人 檜の芽会 御中

## 伴走型就学・学習支援活動助成 実施報告書

【団体の概要】	① 作成日		令和 6 年 2 月 7 日
② 法人・団体名	特定非営利活動法人 全国夜間中学ネット		
③所在地	〒6540013 神戸市須磨区緑ヶ丘 2 丁目 2 1 番 1 0 号		
④責任者氏名	宮崎 仁史	(役職名等)	理事長
⑤担当者氏名	吉永 一郎	(役職名等)	副理事長

【奨学活動の概要】					
⑥助成交付決定番号	R05-001	⑦助成金額	50 万円	⑧申請カテゴリー	C
⑨奨学活動名	学習の機会に恵まれない子供たちの夢をかなえたい				
⑩主な実施場所	兵庫県神戸市				

⑪活動内容とその成果の概要（詳細は【様式 3 - 2】又は別添資料にて記載・説明ください。）

子供たちに無料の教育機会を提供し、彼らが自分自身の可能性を最大限に引き出すことを支援できた。無料の学習塾は、経済的な理由で塾に通えない子供たちに、無償で学びの場を提供すること、居場所を超えた学習の遅れを取り戻す必要不可欠な居場所とすることができた。

別紙参照（新聞記事）

⑫奨学活動の定量的把握（注：統計情報として参考まで把握するものです。活動成果等は上段⑪及び様式 3 - 2 等でご報告願います。）

支援対象	延べ人数 (A : 人)	平均時間 (B : 時間)	活動量 (A x B)	備考・補足
中学生等	4800	2	9600	
高校生等				
大学生等				
学習支援員等	1560	2	3120	
その他				
合 計			12720	

⑬その他の定量的な数値（任意）

## 令和 5 年度 伴走型就学・学習支援活動助成 実施詳細報告書

## 奨学活動名：学習の機会に恵まれない子供たちの夢をかなえたい

法人・団体名：特定非営利活動法人 全国夜間中学ネット

作成者 氏名：宮崎 仁史

## 1. 取り組んだ課題や実践した目的・実施内容について

## 取り組み課題

経済格差による教育格差の社会背景については、親の経済力が子どもの学力に影響を与えることがあるとされています。また、学校外教育においても、公立中学校に通う子どもがいる世帯の教育費の内訳の平均を見ると 62.8%が『学校外活動費』であることから、経済格差と教育格差が関連している背景には、特に「学校外教育」の存在があるとされています。また、出身家庭の社会経済的地位などの「生まれ」によって学力や最終学歴などの教育成果に差がある傾向を「教育格差」と呼びます。このような教育格差は、生まれ育った環境によって、学力や学歴などの教育成果に違いがあるという背景が課題と考えます。

## 目的・実施内容

- 1 神戸市の不登校中学生が 1 2 0 0 名ほどに上る状況のなか、第 3 の子供の居場所として、不登校生の学力保障と自己肯定感、有用感をはぐくみ将来に向けての夢や希望を醸成する支援が目的。
- 2 神戸市の中学 3 年生の通塾率は 80%と高い。一方で経済理由から通塾できない子供たちも存在する。夜間の無料塾を開設し学力を補充し学習習慣を身につけさせ自己有用感、肯定感を持たせ将来への夢や希望を持たせられるように支援する。

## 2. 実施した奨学活動の詳細

## 1 東灘教室（東灘区甲南町 3 丁目 みんなラボ教室）

- ・経済困窮家庭の学習支援 1 か月 1 2 回実施 年間開催は 120 日。延べ参加者 1200 名。
- ・不登校中学生学習支援 年間開催は 120 日。延べ参加者 240 名。

## 2 長田教室（長田公民館）

- ・経済困窮家庭の学習支援 1 か月 1 2 回実施 年間開催は 120 日。延べ参加者 2400 名。
- ・不登校中学生学習支援 年間開催を 120 日とする 延べ参加者 240 名。

両教室ともに公立高校への進学率目標を 95%としている。



- ・周知方法や協力いただいた関係者 地元中学校へのチラシ配布、神戸市教育委員会 神戸学習支援協議会

- ・地域やボランティア活動との連携  
神戸市学習支援協議会との情報交換を年2回実施  
BE KOBE 未来セッションコンテストで「大賞」受賞



- ・学習支援員について  
現任教員2名に加え大学生が40名登録しており常時15名ほどのメンバーで支援しています。

- ・ホームページで「樫の芽会」からの助成掲載



**授業内容が「わかる、できる」という自己肯定感を持ち、教室での居場所を得られるように。**

1法人は夜間中学の運営を目標にしていますが、同時にすべての人が希望する教育機会を確保する実践活動が基本理念でもあります。そのため経済的負担により学習難症が生まれている現状や様々な理由により登校できない予校生の状況の解消に対する教育活動を専攻として実施しています。  
2目的達成により塾に通うことができない中学生を日曜に週3回18:00~20:00に学習指導を実施しています。教員OBと大学生の協働により指導を行い「経済難症と学力難症の連鎖を解消し生徒自身が希望する進学が叶うよう自己実現を目指します。同時に預教育では予校等により中学教育が受けたいことができなかった生徒に各個人の状況に合わせたカリキュラムで授業を実施しています。卒業生の進路については学校の出席となるよう申請を行います。

3法人は教員OBであるため「学力をつける」ことを1番の目標にしています。学校の授業が分かるようになることで授業内容が「わかる、できる」という自己肯定感を持つことができ、教室での居場所を得ることができます。  
4今年度卒業生が古交近辺で学習支援活動を実施しました。その結果5人の受講生のうち7名が希望した公立高校に合格することができました。生徒への感謝はこの際の動画で成績が伸びた実感や勉強のやりがいをして記述していました。  
5この事業の重要性を認識し今年度は5月から長田区の長田公民館を会場にして学習支援活動を開始しました。授業前日より70人の定員がすぐに埋まり、地区での希望の強さを感じております。

**団体の強み**

**教員OB達が専門的知識を持って実施しています。**

1教員OB、教員OBが理事として塾の運営にあたり、学生募集や指導法研修、進学対策、保護者との連絡など専門的知識を持って実施しています。また「学校への訪問を行い、生徒募集は学校を通じて行うなど中学校と連携して生徒の情報を共有しています。このような関係下で生徒に寄り添った指導ができます。

**助成団体**



### 3. 本活動から得られたもの、反省点、課題、今後への発展性、等

活動から得られたもの

経済困窮家庭の子どもたちの学習に対する意欲があるものの、なかなか学ぶ場が提供されていないことがわかった。市の教育委員会としても解決の糸口をも作成しているが、糸口が見つけられないでいる。行政分野では、当法人の活動分野は「福祉」として扱われ「教育」という位置づけではないところで、教育委員会もなかなか積極的になれない課題があることが分かった。

ただ保護者や子供たちにとっては、有効な有益なプログラムであったことはアンケートからもわかる。

反省点・課題・今後の発展性

上述のように、教育委員会としては問題の所在もはっきりしているのも関わらず、地域とのかかわり方がうまくできないことを解決できなかったところが反省点としてあげられる。

- 1 現在民間の夜間の時間帯での学習は、不登校生の「出席扱い」は原則認められていない。(学齢期の義務教育は昼間に行くという原則のため)しかし当法人のスタッフには元公立中学校長がおり、教育委員会の視察、当該中学校長との面談により「出席扱い」としてもらっている。このケースは全国でもまれである。今後も働きかけ「神戸モデル」としてアピールしたい。
- 2 平成20年頃から「学力をお金で買う」という風潮を感じるようになった。教育を経済用語で語ることも多くなってきた。「努力に見合う成果」や「費用対効果」が教育現場でも求められるようになってきた。しかし教育の成果は、費用には換算できないし、成果もすぐに出るわけではない。また不登校生は2022年度全国で24万人と発表され、神戸市でも全国平均を上回る不登校生がいる。当法人の事業は、神戸市内2か所(東灘教室と長田教室)を展開し、2か所で計40名の中学生を週3回、年間100日にわたって学習支援を行う。(延べ参加中学生は4000名)指導者は、当法人へ登録している近隣の大学生40名が担当する。1回当たり平均12名の大学生が学習支援を行う。参加資格は厳密には問わないが、通塾できていない中学生が対象なので、結果的に経済困窮家庭の子供たちになる。子供たちの達成目標は「公立高校への進学」。そのことにより自己有用感や効力感を高めることにつながると考えている。ひいては貧困の連鎖の解消に役立つと確信している。昨年度同事業により、100%の公立高校進学を達成できた。実現可能性は高いと考える。現在も不登校生が5名在籍しているが、教育委員会と協働しながら「出席扱い」できる前例を作る実績としたい。(昨年度1名の実績あり)

現在無料の学習支援のため、事業収入はないが、今後自主夜間中学を展開し授業料を徴収し収益を上げながら、現在の無料塾の運営を進めたい。また当法人の支援個人スポンサーが存在し毎年の寄付金をいただいております、自治体助成、民間助成を資金源としている。

### 4. 本活動におけるエピソード、思い、感想、等(任意)

中学生の感想より

- 1 勉強に対してマイナスのイメージしかなかったけれど、わかることがこんなに楽しいと感じることができてよかった。
- 2 勉強が苦手だったけれど、勉強の仕方や集中の仕方のコツを教えてもらった。ありがとうございました。
- 3 友達が行ってみようと誘ってくれました。家ではなかなか勉強できないけどここでならなぜか勉強できる。ありがとうございました。
- 4 成績上がったよ。はじめてです。

### 5. 学識者からのご意見、コメント、等(申請カテゴリーにて「S」が付されている団体)